

耐震天井下地

OS シーリング

Okuju Safety Ceiling System

REタイプ
落下低減天井

施 工 要 領 書

OKUJU
Space Creator

株式会社 オクジュー
20241120 Ver

©2021 OKUJU Co.,Ltd. 無断転載禁止

目 次

第1章 一般事項

1-1	適用範囲	P.2
1-2	耐震天井下地の構成	P.2
1-3	使用部材リスト	P.2～4

第2章 施工手順

2-1	耐震天井下地の施工手順	
	(1) 墨出し	P.5
	(2) つりボルト取付け	P.5
	(3) 水平補強材の取付け	P.5
	(4) 野縁受け取付け	P.5
	(5) 野縁取付け	P.5～6
	(6) 天井レベル確定	P.6
	(7) 開口部の補強	P.7

第3章 標準ディテール

3-1		
	(1) 壁際納まり(参考例)	P.8

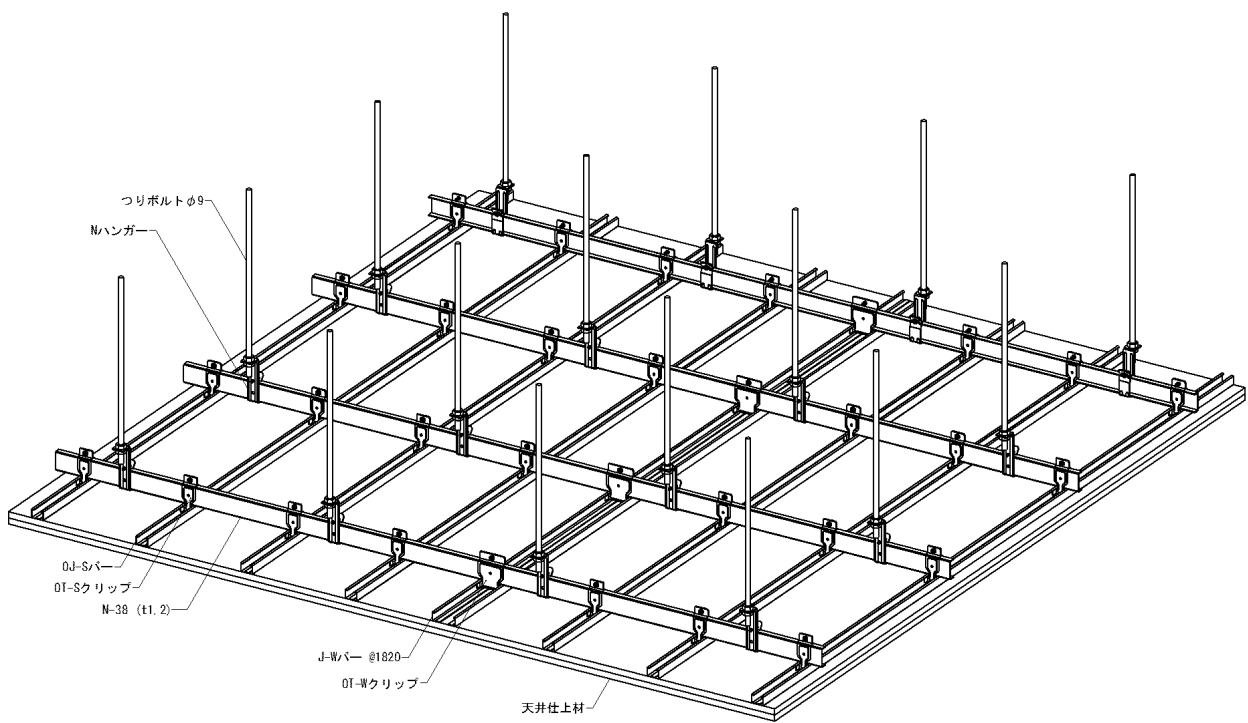
添付資料1 ・OSシーリング(REタイプ)自主検査表

第1章 一般事項

1-1 適用範囲

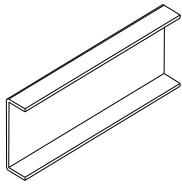
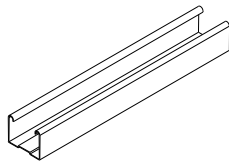
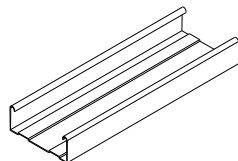
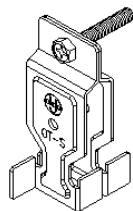
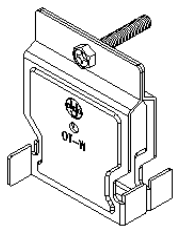
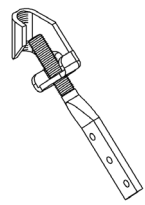
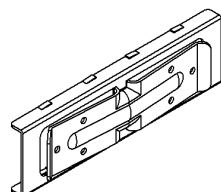
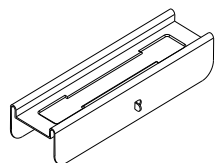
この施工要領書は耐震性を考慮した鋼製天井下地（以下、耐震天井下地という）の施工方法について規定する。

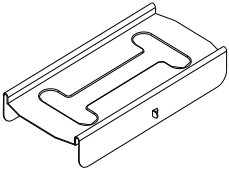
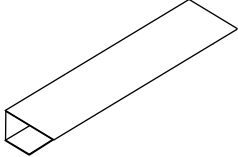
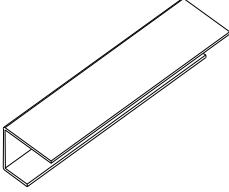
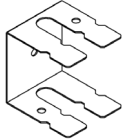
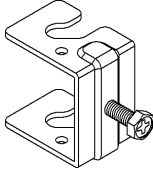
1-2 耐震天井下地の構成



1-3 使用部材リスト

	部材名	つりボルト,ナット
	商品名	ボルト9mm全ネジ,ナット
	規格	W3/8
	材質	JIS G3505
	表面処理	JIS H8625 2級CM2C(適用JIS: JIS H8625 1級CM1A以上)
	付着量	JIS H8610 1級2μ 以上
	備考	
	部材名	ハンガー
	商品名	Nハンガー
	規格	t=2.0mm
	材質	本体: JIS G3302
	表面処理	本体: 溶融亜鉛めっき ビス: JIS H8625 2級CM2C
	付着量	本体: Z12以上 ビス: JIS H8610 1級2μ 以上
	備考	開き止めビス: M5×20
	部材名	勾配ハンガー
	商品名	NWD-C13
	規格	t=2.0mm
	材質	本体: JIS G3302
	表面処理	本体: 溶融亜鉛めっき ビス: JIS H8625 2級CM2C
	付着量	本体: Z12以上 ビス: JIS H8610 1級2μ 以上
	備考	N-38固定ビス: M5×50

	部材名	野縁受け・水平補強材
	商品名	N-38
	規格	[-38×12×1.2(CC-19)
	材質	JIS G3302
	表面処理	溶融亜鉛めっき
	付着量	Z12以上
	備考	
	部材名	シングル野縁
	商品名	OJ-Sバー
	規格	C-19×25×0.5(GS-19)
	材質	JIS G3302
	表面処理	溶融亜鉛めっき
	付着量	Z12以上
	備考	
	部材名	ダブル野縁
	商品名	OJ-Wバー
	規格	C-19×50×0.5(CW-19)
	材質	JIS G3302
	表面処理	溶融亜鉛めっき
	付着量	Z12
	備考	
	部材名	シングルビスクリップ
	商品名	OT-Sクリップ
	規格	t=1.2mm
	材質	本体: JIS G3302同等
	表面処理	本体: 溶融亜鉛めっき ビス: 電気亜鉛めっき
	付着量	本体: Z12以上 ビス: JIS H8610 1級2μ以上
	備考	固定ビス: M5×30
	部材名	ダブルビスクリップ
	商品名	OT-Wクリップ
	規格	t=1.2mm
	材質	本体: JIS G3302同等
	表面処理	本体: 溶融亜鉛めっき ビス: 電気亜鉛めっき
	付着量	本体: Z12以上 ビス: JIS H8610 1級2μ以上
	備考	固定ビス: M5×30
	部材名	ブレース上部金物
	商品名	NWD-C1745
	規格	本体: t=3.2mm 羽子板ボルト: M10細目
	材質	本体: JIS G3101 同等
	表面処理	本体・羽子板ボルト: 電気亜鉛めっき
	付着量	本体・羽子板ボルト: JIS H8610 1級2μ以上
	備考	使用範囲ブレース角度30° ~ 50°
	部材名	野縁受けジョイント
	商品名	N-38ジョイナー
	規格	t=1.2mm
	材質	JIS G3302
	表面処理	溶融亜鉛めっき
	付着量	Z12以上
	備考	ビス止め(φ4 片側2本以上)
	部材名	シングル野縁ジョイント
	商品名	J-Sジョイナー
	規格	t=0.5mm
	材質	JIS G3302
	表面処理	溶融亜鉛めっき
	付着量	Z12以上
	備考	

	部材名	ダブル野縁ジョイント
	商品名	J-Wジョイナー
	規格	t=0.5mm
	材質	JIS G3302
	表面処理	溶融亜鉛めっき
	付着量	Z12以上
	備考	
	部材名	壁際材
	商品名	K-19
	規格	t=0.5mm
	材質	JIS G3302
	表面処理	溶融亜鉛めっき
	付着量	Z12以上
	備考	
	部材名	野縁材(下がり天井)
	商品名	NWD-R19
	規格	[-40×19×20×1.2
	材質	JIS G3302
	表面処理	溶融亜鉛めっき
	付着量	Z12以上
	備考	
	部材名	ビス
	商品名	セルフドリリングビス
	規格	φ4×16
	材質	SWCH18A
	表面処理	JIS H8625 1級CM1A
	付着量	JIS H8610 1級2μ
	備考	
	部材名	つりボルト水平補強材取付金物
	商品名	NWD-C2
	規格	t=0.6mm
	材質	JIS G3302
	表面処理	溶融亜鉛めっき
	付着量	Z12以上
	備考	N-38用
	部材名	つりボルト水平補強材取付金物
	商品名	NWD-C2B
	規格	t=2.3mm
	材質	JIS G3302同等
	表面処理	本体:溶融亜鉛めっき ビス:電気亜鉛めっき
	付着量	本体:Z12以上 ビス:JIS H8610 1級2μ以上
	備考	N-38用
	部材名	
	商品名	
	規格	
	材質	
	表面処理	
	付着量	
	備考	
	部材名	
	商品名	
	規格	
	材質	
	表面処理	
	付着量	
	備考	

第2章 施工手順

2-1 耐震天井下地の施工手順

- 1 墨出し
 - ・ 天井下地組の施工に先立ち、既に打墨されている腰墨に従い天井レベルを出す。
- 2 つりボルト取付け
 - ・ 所定長さのつりボルトにハンガーをナットにて取付けし、スラブ面のインサートより垂直につり下げる。ピッチは900mm程度とし、これを越える場合はLGS等でつり補強を行なう。
 - ・ 端部は下地端より150mm以内とする。
- 3 水平補強の取付
 - ・ 天井ふところ寸法が1.5m以上の場合は、縦横1.8m程度につりボルトの水平補強を行なう。
 - ・ 設置位置は上部スラブ面より1.5m以内とする。
 - ・ 斜め補強は、相対する斜め材を1組とし縦横3.6m程度に設ける。
- 4 野縁受け取付け
 - ・ 野縁受けは目視にて天井高さを調整し、ハンガーに取り付ける。
 - ・ 野縁受けの接続部は野縁受けジョイントを使用し、隣り合う野縁受けのジョイント部分が、交互になるよう取り付ける。その際φ4ビス(4本)で背側からビス止めする。(図2-1参照)

現場溶接は行ってはならない。

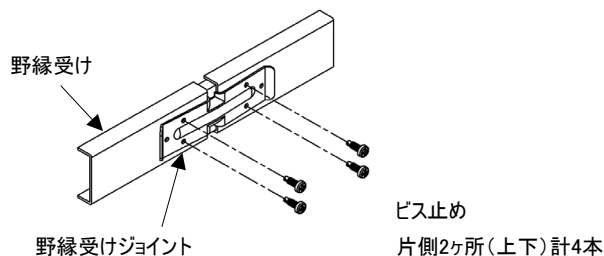


図 2-1 野縁受け接続部

- 5 野縁取付け
 - ・ 天井仕上材より決められた野縁のピッチを野縁受けに墨を出し、ビスクリップで野縁を取り付ける。(図2-3 参照)
 - ・ 接続部分はジョイント金物を使用し、野縁や野縁受けの隣り合うジョイントの位置は、互いに1m以上離し、千鳥状に配置する。(図2-3 参照)

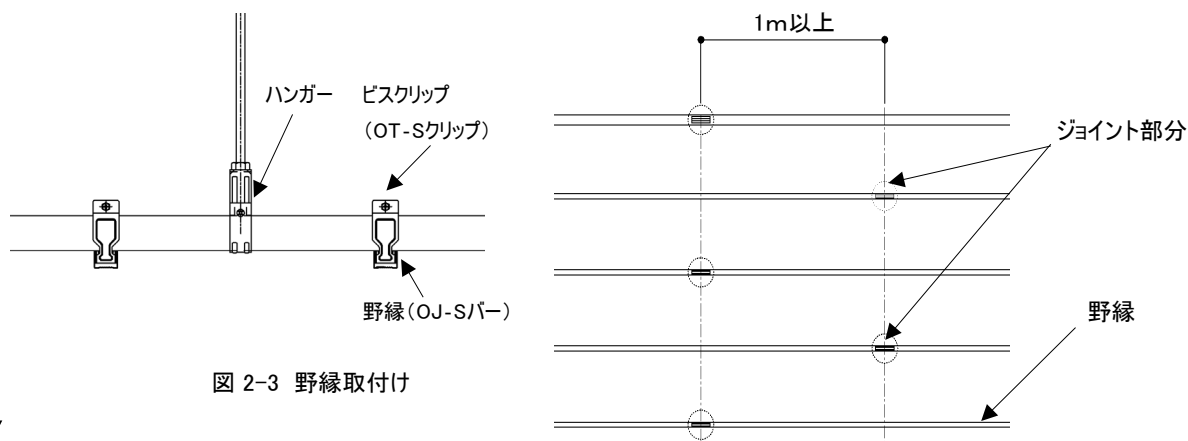


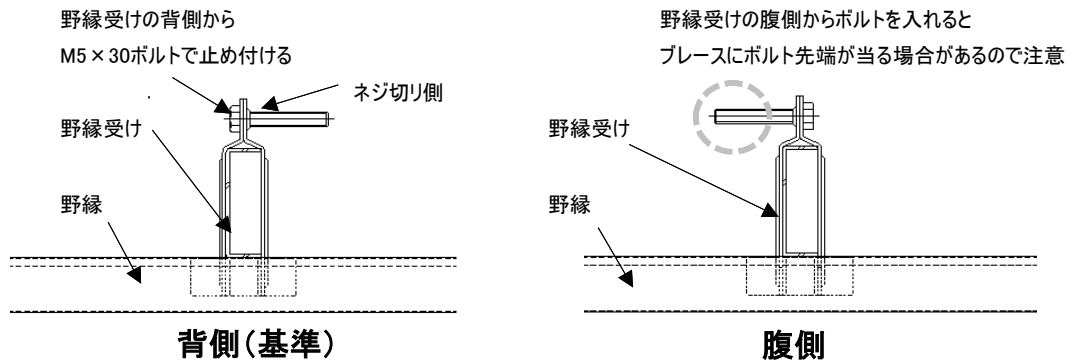
図 2-3 野縁取付け

5 野縁取付け

＜ビスクリップ(OT-S.Wクリップ)の正しい取り付け方＞

- ・ 基準は、野縁受けの背側にM5×30ボルト頭が来るように取り付ける。(図2-4、2-5参照)
- ・ 野縁受けの腹側からボルトを入れるとブレースにボルト先端が当たる場合があるので、注意が必要。
ただし、背側の使用でも強度は変わらない為、施工してもかまわない。

※野縁受けの背側にボルト頭が来るようにする(基準)



左右のクリップをボルトの端まで最大に広げてネジ切り側の部品(a)を先に野縁に差込み、その後ボルト頭側の部品(b)を回転させてセットする。(図 2-5参照)
この時、部品(a)は、必ず野縁受けの刃先側につけるようにする。

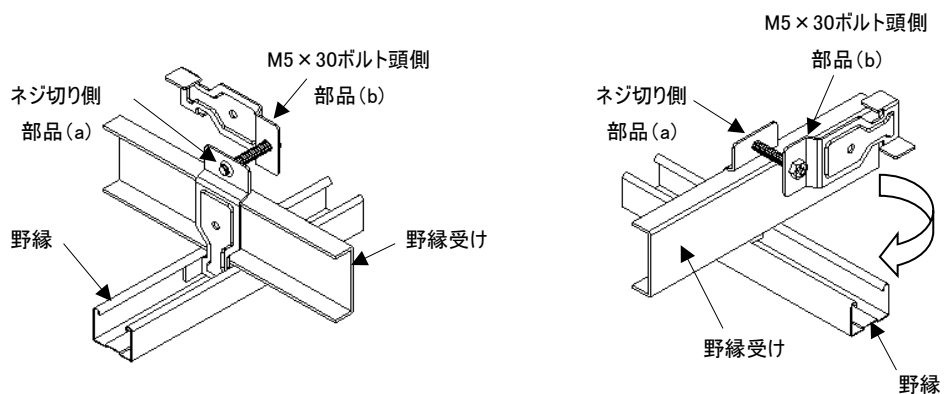


図 2-5 ビスクリップの取付け方

6 天井レベル確定

- ・ 天井レベルの調整後ハンガーナットを本締めし天井レベルを確定する。
- ・ 野縁受けの脱落防止にハンガーの開き止めビスM5×20を取り付ける。(図2-6参照)

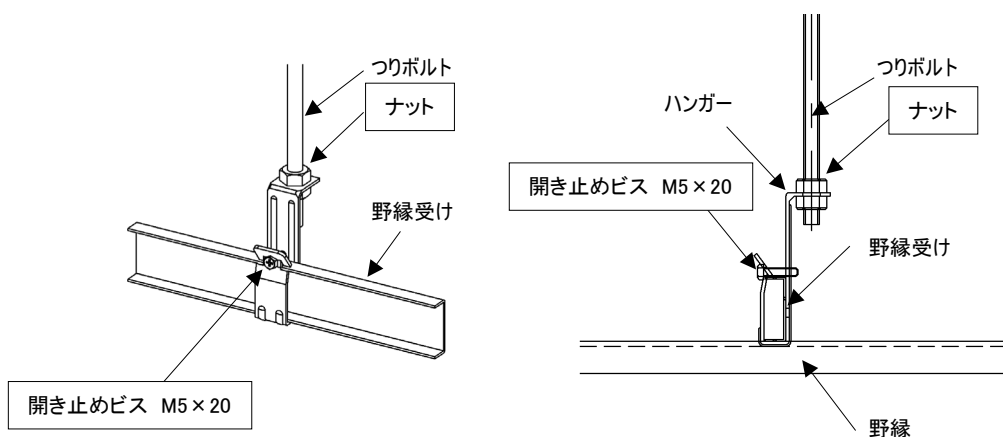


図 2-6 天井レベル確定

設備等の開口補強方法は下記による。

1) 照明器具、ダクト吹出し口等で野縁が切断される場合

- ・野縁のはね出しは、150mm以内とし、それ以上の場合は野縁受けを追加する。
但し、追加野縁受けが900mmを超える場合は、支持間が900mm以内となるようにつりボルトを追加する。その下地は必ず切断されてない下地に固定する。（図2-7参照）

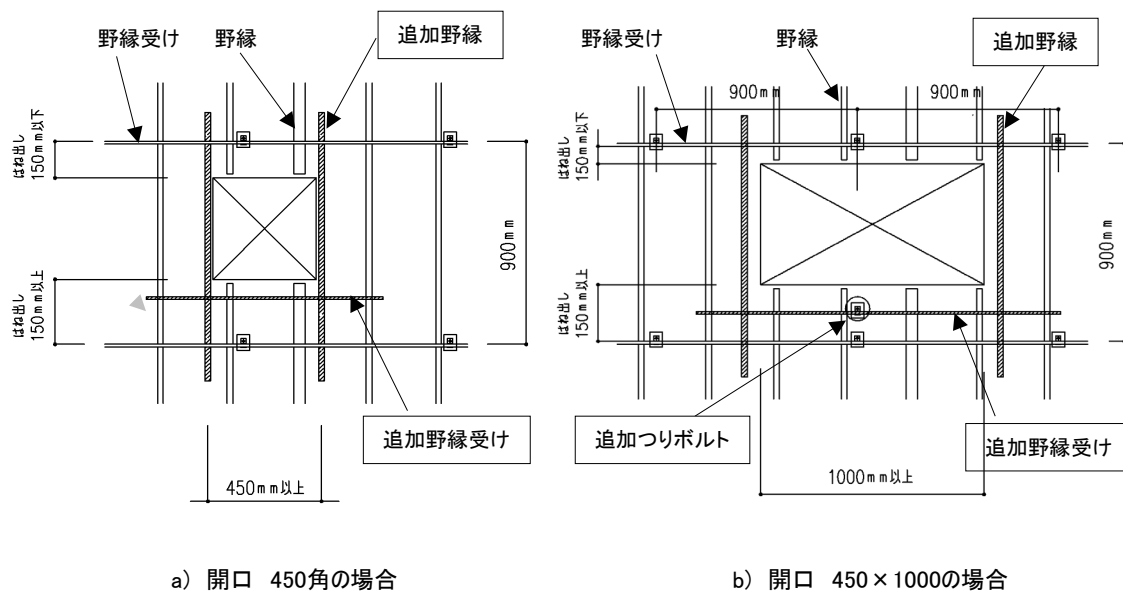


図 2-7 開口部の補強

2) 照明器具、ダクト吹出し口等の開口で野縁受けが切断される場合

- ・野縁受けのはね出しは150mm以内とし、それ以上場合はつりボルトを追加する。
（図2-8参照）

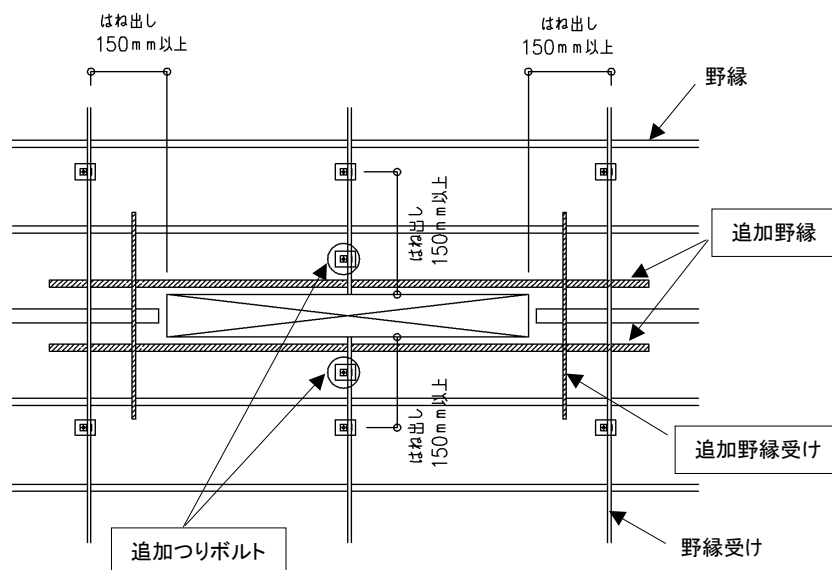
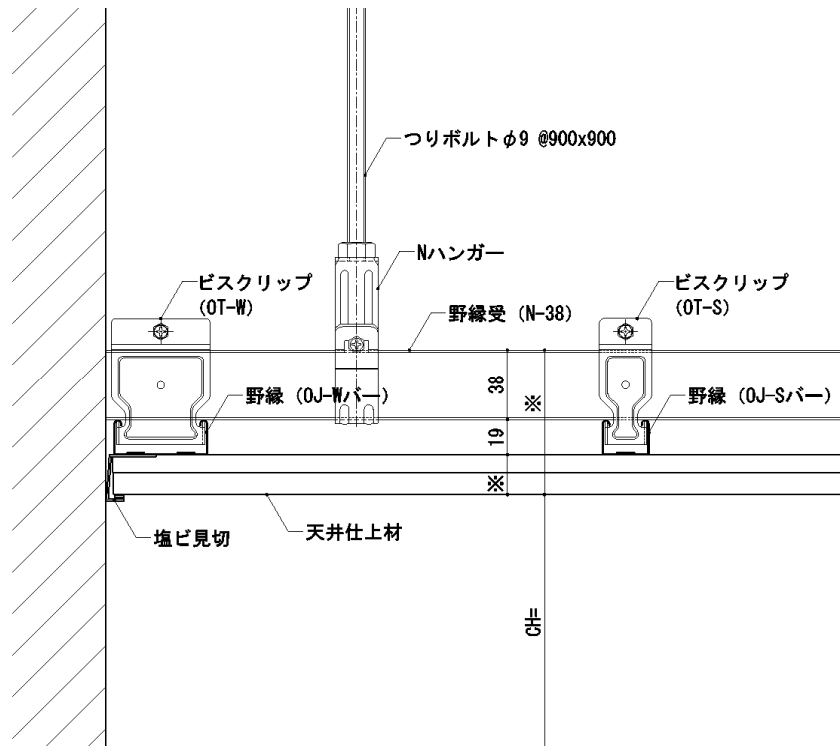


図 2-8 開口部の補強

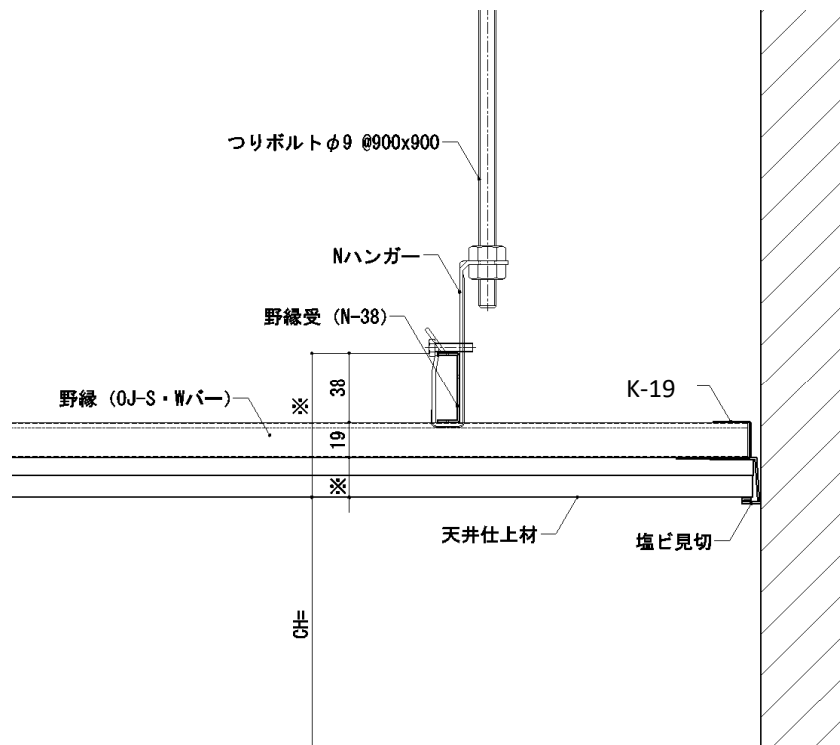
以上

第3章 標準ディテール

(1) 壁際納まり (参考例)



野縁受け方向



野縁方向